

みちくさ

第9号

改修工事について

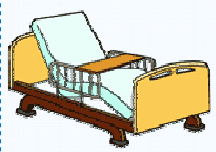


駒場苑では今年度、ベッド増床工事を行っています。たった5床増床ですが、その意義は何なのでしょう。それには理由は二つあります。

一つは、目黒区には約1,000人の特養待機者がいると聞いております。社会福祉法人としてこの現状を何とか打開したいと考えたからです。愛隣会は「隣人愛」を理念にしています。「己を愛するように隣人を愛せよ」介護を必要とする人にとって、自分を受け入れてくれる施設の存在が何より必要です。そういう駒場苑でありたいと思っています。

二つ目は駒場苑のサービス向上です。駒場苑は50床と小規模施設です。現在の介護保険制度の中では非常に厳しい経営を余儀なくされ、その結果赤字経営が続いておりました。健全経営に建て直しをするためにはいくつかの方法がありますがその一つとして増床して収入アップを計画しました。

赤字の結果、非常勤職員に他の部署へ異動して頂いたり、ギャッジベッドを電動に変えることが出来ず手動のまま。(職員の身体的負担と利用者の顔を見ることもできないまま介護する可能性があり危険が伴います)。この状況を解消し、適切な介護現場環境の確立とその先のサービス向上につなげます。



社会福祉法人の意義と利用者サービス向上のために皆様にご負担をかけると思いますがご協力をお願い申し上げます。



「ゆく年くる年」

★ヒゲ奮闘記

月日が経つのは早いもので…なんて言っていると「年をとった証拠」と言われますが、我が家の長男も来年度からは小学生だと思つと、やっぱりそう思うのです。ついこの間、新年の挨拶をしたかと思つたら、もう年の暮れですからねえ。

大晦日の夜、我が家ではNHKの「ゆく年くる年」を見て新年を迎えます。静かに厳かな雰囲気を迎える新年は良いものですが、現職に就く以前、介護スタッフの一員だった頃は、毎年の年越しを夜勤にしてもらい、0:00を過ぎたら新年の干支の仮装をして業務をしていました。『笑う門には福来たる』ですから、身を持ってご利用者の初笑いの的となり、新しい年を楽しく過ごしていただきたく願いを込めて…と言っても、ただ目立ちたかっただけとか(笑)。

今では毎年元旦には苑長と共にご利用者の皆様に新年のご挨拶をさせていただいていますが、普段は着ないスーツにネクタイ姿ですので、ある意味仮装かな？

大晦日の夜に一年を振り返れば、私生活も仕事も反省する点は様々たくさんありますが、元旦には気分一新し「明けましておめでとう！」と気持ち良く新年を迎え、皆さん一緒に今年一年を良い年にしたいと願うのです。

(カツノタカナル)



Merry X'mas!

サンタクロースとトナカイがプレゼントを持ってやってきました!



編集後記：『明けましておめでとうございます』
横浜港では「除夜の汽笛」の音で新年を迎えるのが恒例になっています。年明けとともに、停泊中の船が一斉に汽笛を鳴らすのです。我が家は横浜港からは直線距離にして約7kmの山の上ですが、毎年この音が聞こえてきます。除夜の鐘とは一味違った、横浜ならではの年越しを楽しんでいます。(タチバナ)

(摂りたい食品の合言葉)

まごはの
やさしい

や

【野菜料理】

皆さん、毎日の食事に野菜は足りていますか？
「一日どのくらい野菜を食べたらいいの？」とよく聞かれます。
目安は自分の両手の平を合わせて器を作り、そこに山盛り一杯と言われています。
また、その量の3分の1は、緑や赤の色の濃い野菜を食べましょう。(栄養士 大館)

★あらかると



★タジン鍋

お好みの野菜をカットして鍋で蒸すだけの料理です。蒸し野菜にすることでカサが減ってたくさん食べられます。ポン酢や胡麻だれ等、お好みのタレを付けて召し上がってください。



★スープ

旬の野菜(今なら白菜・大根・小松菜・カブ・ねぎ・ほうれん草など)に、肉や魚などを加えて煮込みます。味のベースはコンソメ、昆布だし、鰹だしなどお好みで。野菜の甘味により、わずかな調味料で味を整えるだけで美味しく頂けます。